

8-1-6 対外活動委員会WG(国総研・土研)

1. 対外活動委員会 WG(国総研・土研)の概要

(1) WG(国総研・土研)の活動目的

国総研・土研との意見交換会は、地方ブロック意見交換会にならない、平成25年度から実施されている。平成26年度から対外活動委員会WG(国総研・土研)を設立し、意見交換会のテーマ設定、国総研・土研への「要望と提案」の作成などを行っている。

(2) WGの構成(委員)

WG長は常任委員長、副WG長は技術委員長とし、その他委員は5名で総勢7名で構成されている。

2. 主な活動の記録

(1) WGの開催

次の3回開催した。

第1回：平成29年6月6日

第2回：平成29年8月17日

第3回：平成29年10月3日

(2) アンケートの実施と「要望と提案」作成

国総研・土研業務の受注実績がある会員を対象として、アンケート調査を実施した。その結果を反映して、改正品確法を踏まえた「要望と提案」および付属資料を作成した。

「要望と提案」(国総研)の骨子は以下のとおりである。

I. 魅力ある建設コンサルタントに向けた担い手の育成・確保のための環境整備

1. 企業経営の安定に向けての環境整備

① 発注量の安定的確保

2. 受発注者協働による生産性向上と就業環境の改善に向けての取り組み強化

① 発注時期と履行期限(納期)の平準化

② 受発注者協働によるワークライフバランスの改善

③ 適切な契約変更

3. より魅力ある職業としての確立(人材の育成・確保の環境整備)

① 若手技術者・女性技術者を育成する入札・契約制度の導入

② 交流研究員に関する制度改定

II. 技術力による選定

1. プロポーザル方式による業務発注の継続

III. 品質の確保・向上

1. 受発注者のコミュニケーションの円滑化

2. 品質向上に向けた複数年度契約

(3) 意見交換会テーマの設定

国総研・土研の意見交換会は、地方ブロックの意見交換会とは異なり、「要望と提案」の説明とそれに対する回答に終始するのではなく、技術テーマを設定し、それについても議論を行っている。国総研・土研と事前に協議し技術テーマの設定を行った。

(4) 意見交換会の開催

国総研・土研との意見交換会を平成30年1月17日に開催した。会議時間は2時間半である。議事は、下記のとおりである。

(1) 地方ブロック意見交換会の報告

(2) 建コン協からの要望・提案

(3) 個別課題への対応

① 生産性向上に向けた取り組み等(国総研)

② 建設コンサルタンツ協会のCIM対応方針(建コン協)

③ 示方書や基準書の改定にともなう官民連携(国総研、建コン協)

(4) その他

3. 次年度の活動について

次年度も今年度と同様、アンケートを実施し、その結果を要望と提案に反映させ、意見交換会に臨む。また技術テーマ(個別課題)についても、WGで意見交換に相応しいと思われるテーマを選定後に国総研・土研と事前協議を行う。

(対外活動委員会WG(国総研・土研)

WG長 兪 朝夫)